



▽▼さかた農林水産業お役立ち情報 134号 (2026年3月2日)

少しずつ気温が上がり、だんだんと春を意識するようになってきました。私自身、2月は冬季オリンピックが盛り上がっていたので、完全に冬の気分でしたが、3月はWBCが開幕するため、一気に春の気分になってしまいました。今回は動画サブスクでしか視聴できないようですが、侍ジャパンの活躍を見届けるため、なるべくお得に観戦する方法を日々模索しています。

また、寒い日は家にこもりがちだったので、暖かい日はふと外出したくなります。有酸素運動は心身の健康に効果的だということなので、花粉症が悪化しない程度に、溜め込んだお腹周りをゆっくり消化していきたいと思います。

(担当) Y.G

目次

1. 令和8年度 食と農のビジネス塾11期生募集について
2. 農林水産業等への鳥獣被害防止対策オンラインセミナーの開催について
3. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！
4. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは✿
5. 食卓に旬を。今月のおすすめレシピ🍷
6. 米に関するマンスリーレポート等（令和8年2月）

【1. 令和8年度 食と農のビジネス塾11期生募集について】

優れた経営感覚と販売ノウハウを養成する「食と農のビジネス塾」の11期生を募集します。

○期 間／令和8年4月9日（木）から令和9年3月4日（木）

○主な会場／山形大学農学部（鶴岡市）

○対象者／食品産業、農林畜産業に興味がある方

○定 員／40人

○費 用／庄内地域在住3万円、庄内地域外在住4万円

○申し込み／3月25日（水）まで山形大学農学部内「地域定住農業者育成コンソーシアム」事務局へお申し込みください。（電話：070-2011-5615）

【2. 農林水産業等への鳥獣被害防止対策オンラインセミナーの開催について】

東北農政局より、鳥獣被害防止対策に関するセミナー開催のお知らせです。

○日 時／令和8年3月5日（木）13時10分～14時

○開催方法／オンライン形式（Microsoft Teams での配信）

○対象者／本セミナーに関心のある方

○内容／被害防止のためにクマ大量出没の背景を学ぶ

○講師／森林総合研究所 東北支所 動物生態遺伝チーム

チーム長 大西 尚貴 氏

○申し込み／3月3日（火）まで以下の参加申し込みフォームからお申し込みください。
（参加申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/1YC4V2Fugy>）

【3. 今月のおすすめの農業体験をご紹介します！】

酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会で提供している農業体験をご紹介します。

春の訪れを感じるこの季節、屋外と室内で楽しめる体験をご用意しました。3月におすすめの農業体験は以下のとおりです。ご興味のある方はぜひ申し込んでみてください！

・体験メニュー①：ちくりん整備体験

提供者：ホワイト・グリーン・鳥海（代表：小松幸雄）

連絡先：0234-64-4648

期間：3月～11月

料金：1名500円（お土産付き）

体験人数：5名～10名くらい



・体験メニュー②③

提供者：庄内空港緩衝緑地パークセンター（担当：村上・齋藤）

連絡先：0234-92-4427

②：緑地の自然素材を使ったフォトスタンド作り

期間：通年

料金：1個200円

体験人数：4名～

③：コキアを使ったやわらかほうき作り

期 間：通年

料 金：1本200円

体験人数：4名～



○申し込み／農業体験提供者へ直接連絡

○問い合わせ／酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

(電話：0234-25-3100／HP：<https://www.sakatagreentourism.com/>)

【4. 花のある暮らしを目指して！おはなのいろは☆】

「酒田華いっぱいプロジェクト」※1では、お花に関する情報をお届けします。今月のおすすめのお花は **フリージア** です。

➤ 特徴

フリージアは南アフリカ原産のアヤメ科の球根植物です。和名は「香雪蘭（コウセツラン）」と言い、1つの茎に6～12輪の花をつけます。色は白、黄、ピンク、紫があり、基本一重の花ですが、最近は八重のものも出回っています。香りが良く、特に黄色の特定品種は甘い香りが漂って、この香りを求めて購入する方もいらっしゃるくらいです。

➤ 管理

水下がり※2のしにくい花ですが、次々に咲いているので咲き終わった花はこまめに取り除いた方が見栄えが良いです。また、水を汚しにくい花ですが、水替えをするときには茎を1～2cmほどカットして、新鮮な切り口にしておくことをおすすめします。飾る場所は、出来れば暖房のない涼しい場所が理想ですが、暖房のある部屋でも直接温風の当たらない所なら、ある程度は大丈夫です。

➤ レイアウト

複数の花が付いていて、次々に咲くため、一本でも存在感があります。複数本飾れば、つぼみから満開まで様々な表情を見せてくれます。また、桜や桃といった枝花とも相性が良いです。

今月の記事は《有限会社花慶（山形県酒田市駅東 2 丁目4-1）の菅原さん》からご提供いただきました。

※1「酒田華いっぱいプロジェクト」は酒田産花きの認知度向上を目指して、市内の有志の生花店と団体、そして市が共同で立ち上げました。

※2 切り花が水不足等により水を吸い上げられず、しおれて元気がなくなる状態。

【5. 食卓に旬を。今月のおすすめレシピ🍷】

「酒田市食育・地産地消推進委員会」から、旬の食材を使用したレシピをご紹介します。今月のおすすめ食材は **しいたけ** です。

しいたけは、骨の強化、コレステロールの低下、免疫力の向上、便秘の解消など、うれしい効果が期待できる栄養豊富な食材です。

スーパーマーケットなどで一年中見かけるため、わかりにくいですが、旬は春と秋の年2回です。春は身がしまり凝縮したうま味、秋は香り高い味わいが特徴です。

地元産を使えば、新鮮で味わいも豊か。ぜひ地産地消を意識して、旬の食材を美味しくいただきましょう。

★ しいたけとじゃがいものアヒージョ ★

<材料>

- ・しいたけ……2～3個
- ・じゃがいも…1個
- ・にんにく……1かけ
- オリーブオイル…大さじ2～3
- 塩コショウ……適量



<作り方>

- ①フライパンにオリーブオイルとみじん切りにしたにんにくを入れ、火をつける。
- ②にんにくの香りがしてきたら、一口大に切ったしいたけとじゃがいもを入れて火を通す。塩こしょうで味を整えて、できあがり。

☆ベーコンやブロッコリーなどを入れても美味しいですよ。

※紹介したレシピは、委員会所属の「すくすくめぐりネット」よりご提供いただいたものです。

【6. 米に関するマンスリーレポート等（令和8年2月）】

農林水産省より2月号が配信されました。詳しくは下記 URL よりご参照ください。

○主な掲載内容

特集

- | | |
|-------------------------|------|
| 1 米の需給状況の現状について | 特集-1 |
| 2 米穀需給変化対応事業の実施について | 特集-4 |
| 3 令和8年度経営所得安定対策等の概要について | 特集-5 |

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/index.html>

農林水産省（マンスリーレポート）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

農林水産省（統計情報）HP

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

さかた農林水産業お役立ち情報

発行日：毎月1回＋臨時号

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するホームページ

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ ページ内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ 市公式 LINE での配信の登録、配信停止等は下記リンク先を参考に設定をお願いいたします。

https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/nosanbutsu/nosei_line.html

食と農を学び、
地域で活かす。

山形大学
農学部
通年講座

食と農の

令和8年度 第11期生 募集!

ビジネス塾



- 開講期間 2026年4月9日～2027年3月4日
- 主な会場 山形大学農学部（鶴岡市）
- 対象 食品産業、農林畜産業に興味がある方
- 料金 3万円（庄内地域在住）
4万円（庄内地域外在住）
- 定員 40名 **申込締切 2026/3/25**

地域定住農業者育成コンソーシアムは、農業者を志す若手農業者に対し、自立（経営感覚の優れた担い手）に向け、①研修指導②農産物販売支援③住宅、生活支援④農地支援⑤就農自立化相談などの複合的な機能で支援し、地域定住に繋げ、農業の発展と地域経済の振興を図ることを目的に、平成28年4月に発足しました。優れた経営感覚と販売ノウハウを養成するために、山形大学農学部を主な会場として「食と農のビジネス塾」を開講しています。基礎、経営、加工、販売、農業技術、ビジネス文書作成の6つの科目について、視察、実習含むコースで体系的に学びます。



平成29年11月 国家戦略プロフェッショナル検定
「食の6次産業化プロデューサー（食Pro）」レベル3育成プログラム 認定
平成28年12月 文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定



①お問い合わせ・申し込み先
地域定住農業者育成コンソーシアム

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23（山形大学農学部内）
※平日 8時30分～17時

☎070-2011-5615 ✉youngf.sp2016@gmail.com



Facebook



Instagram